

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

－ 生乳生産量は2.3%減少 －

生乳生産量は733万4,264 tで、前年に比べ17万3,997 t (2.3%) 減少した。これは、搾乳牛頭数の減少が続いていること等による。

図1 生乳生産量の推移 (全国)

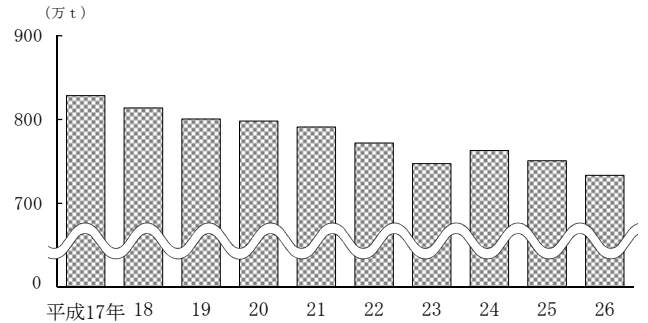


表1 生乳生産量

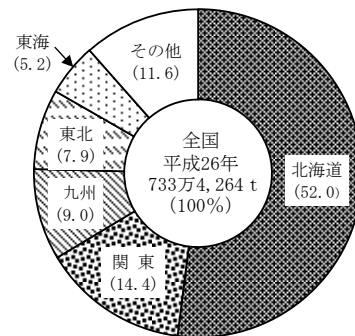
年次	生乳生産量			対前年比		
	全国	北海道	都府県	全国	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
平成25年	7,508,261	3,882,542	3,625,719	98.4	98.7	98.1
26	7,334,264	3,810,742	3,523,522	97.7	98.2	97.2

(2) 全国農業地域別生乳生産量

－ 北海道の生乳生産量シェアは52.0% －

全国農業地域別の生乳生産量をみると、北海道が381万742 t (全国に占める割合52.0%) で最も多く、次いで関東が105万5,210 t (同14.4%)、九州が65万6,933 t (同9.0%) の順となっている。

図2 生乳生産量シェア (全国農業地域別)



注：割合の計が100%にならないのは、四捨五入によるものである (以下同じ。)

表2 生乳生産量 (全国農業地域別)

年次	単位：t											
	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成25年	7,508,261	3,882,542	604,253	98,857	1,074,402	128,901	395,479	194,124	302,344	131,974	667,104	28,281
26	7,334,264	3,810,742	580,036	94,663	1,055,210	125,910	379,425	186,455	289,866	128,227	656,933	26,797
対前年比 (%)	97.7	98.2	96.0	95.8	98.2	97.7	95.9	96.0	95.9	97.2	98.5	94.8

(3) 用途別処理量

－ 牛乳等向け処理量は1.6%減少 －

生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は391万940tで、前年に比べ6万3,586t(1.6%)減少し、乳製品向け処理量は336万4,492tで、前年に比べ11万2,036t(3.2%)減少した。

図3 牛乳等向け処理量及び乳製品向け処理量の推移（全国）

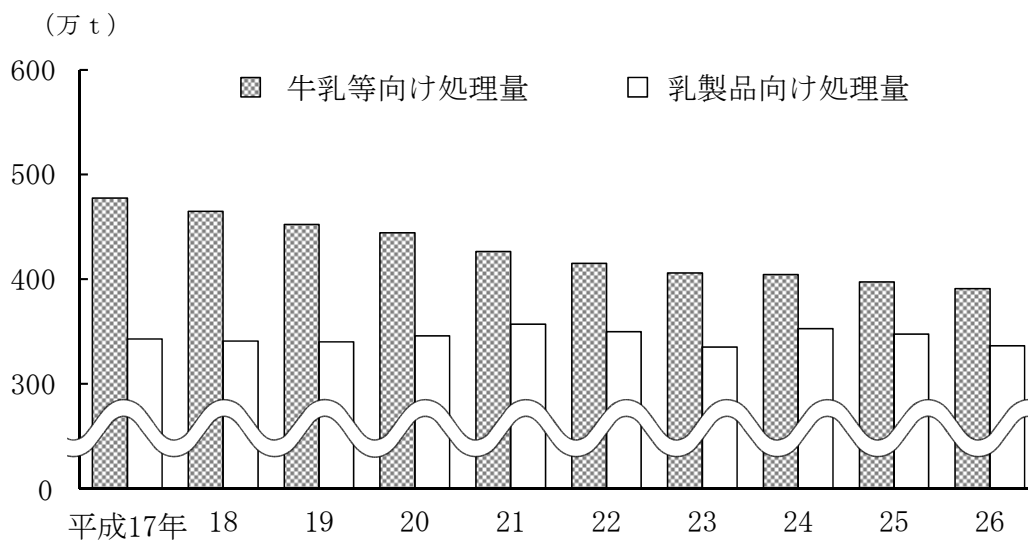


表3 生乳用途別処理量（全国）

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	その他向け	欠減
26	7,334,264	3,910,940	305,470	3,364,492	58,832	10,392
対前年比(%)	97.7	98.4	99.6	96.8	102.8	94.1

単位：t

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

— 牛乳生産量は1.4%減少 —

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は298万8,742k1で、前年に比べ4万1,777k1(1.4%)減少し、加工乳・成分調整牛乳生産量は46万7,527k1で、前年に比べ8,541k1(1.8%)減少した。

図4 牛乳及び加工乳・成分調整牛乳生産量の推移(全国)

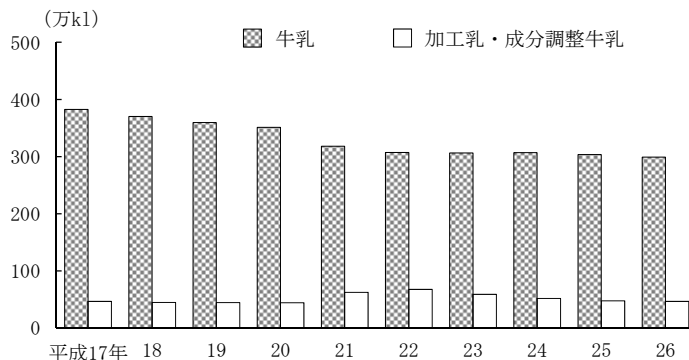


表4 飲用牛乳等生産量(全国)

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	加工乳・成分調整牛乳			
			業務用	業務用	成分調整牛乳	成分調整牛乳
平成25年	3,506,587	3,030,519	286,883	476,068	35,251	347,371
26	3,456,269	2,988,742	284,777	467,527	38,910	346,348
対前年比(%)	98.6	98.6	99.3	98.2	110.4	99.7

単位: k1

(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

— 関東の飲用牛乳等生産量シェアは29.7% —

全国農業地域別の飲用牛乳等生産量をみると、関東が102万5,992k1(全国に占める割合29.7%)で最も多く、次いで北海道が51万6,726k1(同15.0%)、近畿が40万7,836k1(同11.8%)の順となっている。

図5 飲用牛乳等生産量シェア(全国農業地域別)

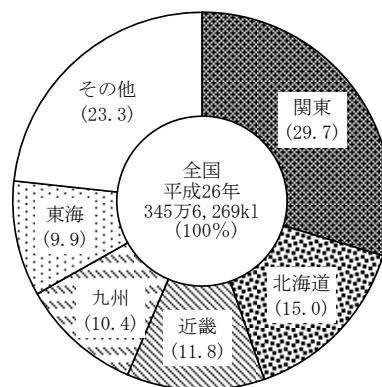


表5 飲用牛乳等生産量(全国農業地域別)

年次	全国農業地域別											
	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成25年	3,506,587	505,527	253,111	93,153	1,047,925	118,524	358,565	413,569	251,561	74,864	359,598	30,190
26	3,456,269	516,726	249,251	84,269	1,025,992	122,333	340,950	407,836	243,843	76,850	359,471	28,748
対前年比(%)	98.6	102.2	98.5	90.5	97.9	103.2	95.1	98.6	96.9	102.7	100.0	95.2

単位: k1

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

－ 乳飲料生産量は2.7%減少 －

乳飲料の生産量は133万1k1、はっ酵乳の生産量は100万1,289k1、乳酸菌飲料の生産量は14万5,640k1で、前年に比べそれぞれ3万6,554k1(2.7%)、1,949k1(0.2%)、1万1,658k1(7.4%)減少した。

図6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移(全国)

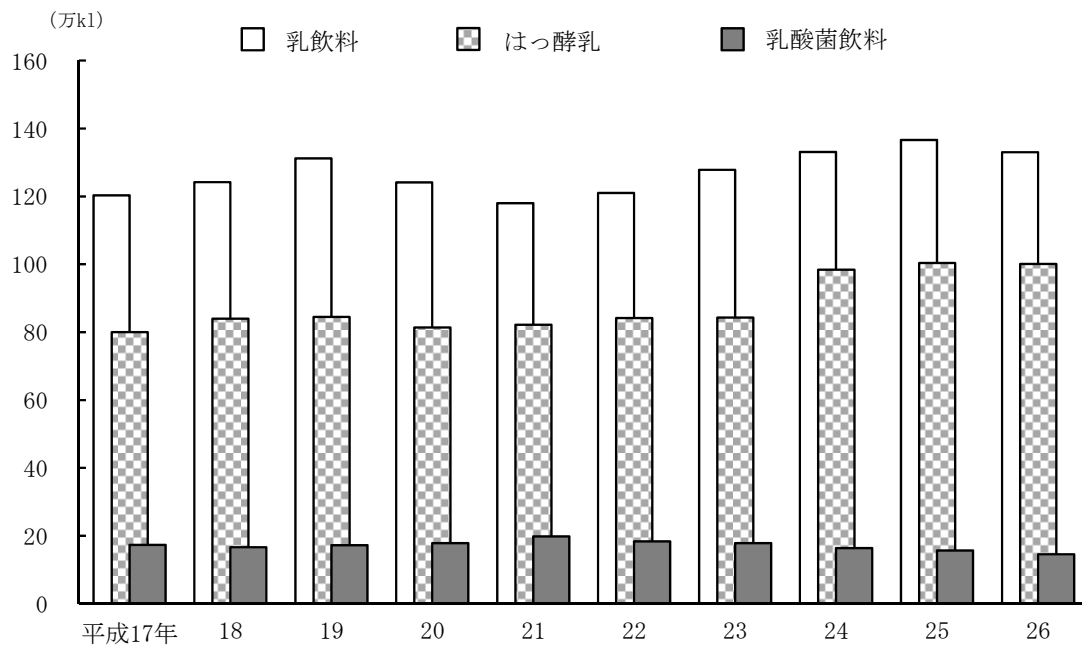


表6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量(全国)

単位：k1			
年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平成25年	1,366,555	1,003,238	157,298
26	1,330,001	1,001,289	145,640
対前年比(%)	97.3	99.8	92.6

3 乳製品生産量

－ 脱脂粉乳は12.1%減少 －

主な乳製品の生産量をみると、チーズは13万9,519 t、脱脂粉乳は11万9,844 t、バターは6万762 tで、前年に比べそれぞれ559 t (0.4%)、1万6,510 t (12.1%)、7,541 t (11.0%) 減少した。一方、クリームは11万6,911 tで、前年に比べ3,409 t (3.0%) 増加した。

図7 主要乳製品の生産量の推移（全国）

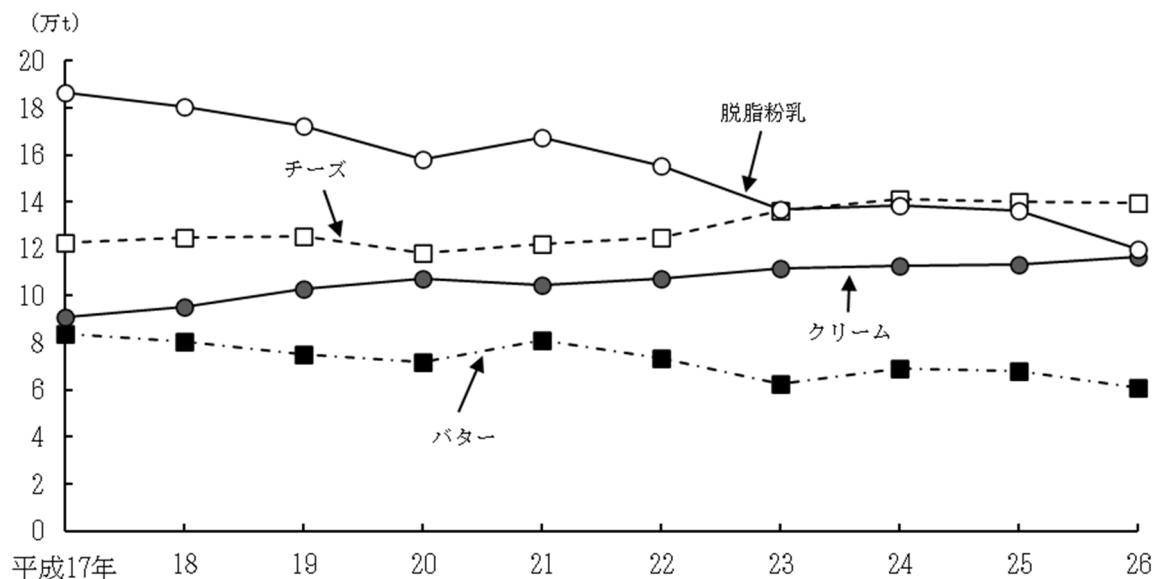


表7 乳製品生産量（全国）

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	バター	クリーム
	t	t	t	t	t
平成25年	10,765	136,354	22,915	68,303	113,502
26	12,077	119,844	26,659	60,762	116,911
対前年比 (%)	112.2	87.9	116.3	89.0	103.0

年次	チーズ	直接消費用ナチュラルチーズ		加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	アイスクリーム
		t	t				
平成25年	140,078	27,342	34,553	679	3,981	143,433	
26	139,519	27,653	33,829	677	4,661	144,724	
対前年比 (%)	99.6	101.1	97.9	99.8	117.1	100.9	

注： アイスcream以外の乳製品の対前年比については、実数（kg単位）により算出しているため、表中の数値による算出結果と異なる場合がある。

4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

ー 生乳を処理した工場数は540工場 ー

平成26年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場数は596工場であった。

そのうち生乳を処理した工場数は540工場であり、生乳処理量が2t未満の牛乳処理場・乳製品工場が293工場、40t以上の牛乳処理場・乳製品工場が114工場となっている。

図8 生乳処理量規模別牛乳処理場・乳製品工場数の推移(全国)(12月31日現在)

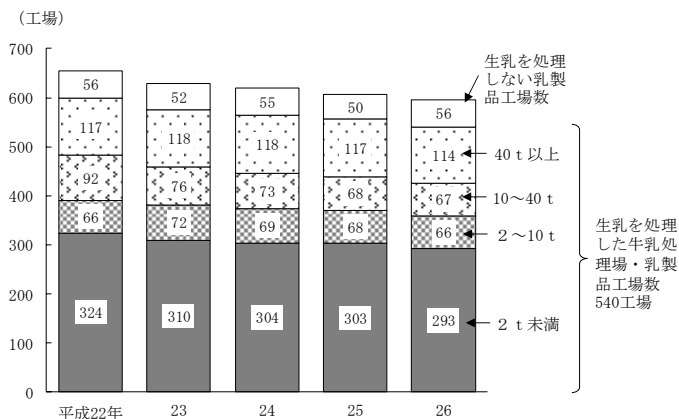


表8 牛乳処理場・乳製品工場数(全国)(12月31日現在)

年次	計	経営組織			12月の生乳処理量規模(1日当たり)							生乳を処理しない乳製品工場
		会社	農業協同組合	個人・その他	2t未満	2~4	4~10	10~20	20~40	40t以上		
平成25年	606	449	42	115	303	31	37	32	36	117	50	
26	596	453	40	103	293	37	29	30	37	114	56	
対前年差	△10	4	△2	△12	△10	6	△8	△2	1	△3	6	

(2) 全国農業地域別処理場・工場数

ー 関東の処理場・工場シェアは20.6% ー

全国農業地域別の牛乳処理場・乳製品工場数をみると、関東が123工場(全国に占める割合20.6%)で最も多く、次いで北海道が110工場(同18.5%)、東北が64工場(同10.7%)の順となっている。

図9 牛乳処理場・乳製品工場シェア(全国農業地域別)

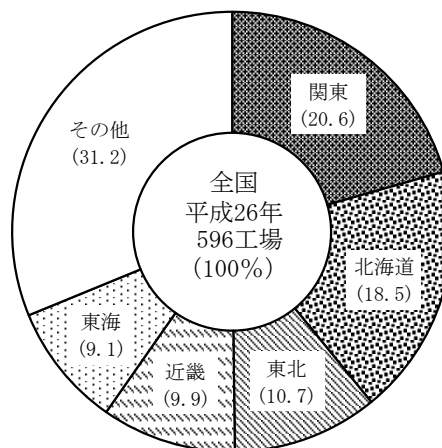


表9 牛乳処理場・乳製品工場数(全国農業地域別)

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成25年	606	105	65	46	126	31	57	61	42	10	54	9
26	596	110	64	40	123	33	54	59	42	9	53	9
対前年差	△10	5	△1	△6	△3	2	△3	△2	0	△1	△1	0

(3) 製造品目別処理場・工場数

ー 牛乳を製造した工場は 394 工場 ー

平成 26 年 1 月から 12 月に飲用牛乳等を製造した牛乳処理場・乳製品工場数は 395 工場で、うち牛乳を製造した工場数は 394 工場であった。

また、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場数は 125 工場であり、乳飲料を製造した工場数は 237 工場であった。

乳製品を製造した工場数は 314 工場で、うちチーズを製造した工場数は 156 工場、乳脂肪分 8% 以上のアイスクリームを製造した工場数は 136 工場となっている。

表10 飲用牛乳等及び乳飲料を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料
	計	牛乳	加工乳・成分調整牛乳		業務用	成分調整牛乳		
			業務用	学校給食用				
平成25年	427	426	154	220	131	11	60	250
26	395	394	154	207	125	13	59	237
対前年差	△ 32	△ 32	0	△ 13	△ 6	2	△ 1	△ 13

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない（表11において同じ。）。

表11 乳製品を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	乳製品											
	計	粉乳			バター	クリーム	チーズ	れん乳				乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳				加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳		
平成25年	295	13	29	5	65	76	139	118	24	5	10	130
26	314	11	28	5	67	77	156	132	22	5	11	136
対前年差	19	△ 2	△ 1	0	2	1	17	14	△ 2	0	1	6

<参考>

－ 乳用牛の飼養動向 －

畜産統計調査（各年2月1日現在）

平成27年2月1日現在の乳用牛の飼養頭数は137万1千頭で、前年に比べ2万4千頭（1.7%）減少した。

図10 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

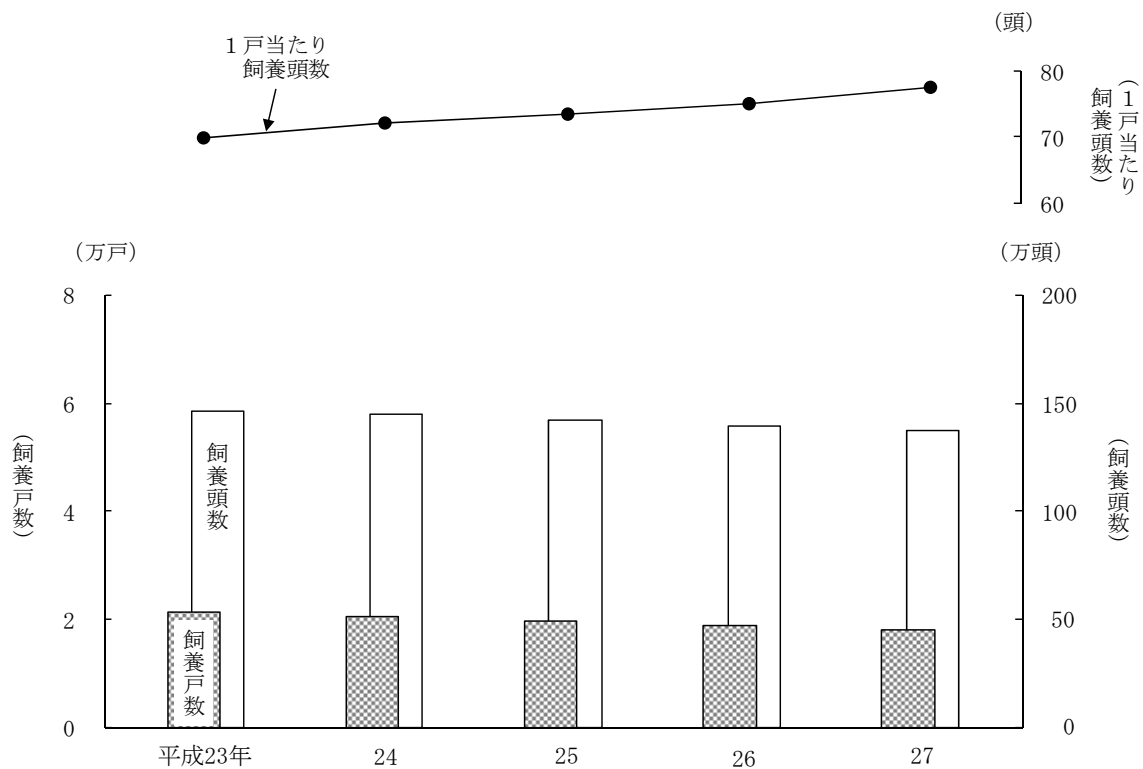


表12 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

区 分	単位	平成23年	24	25	26	27 (概数)
飼養戸数	戸	21,000	20,100	19,400	18,600	17,700
飼養頭数	頭	1,467,000	1,449,000	1,423,000	1,395,000	1,371,000
うち搾乳牛	頭	804,700	812,700	798,300	772,500	750,100
1戸当たり飼養頭数	頭	69.9	72.1	73.4	75.0	77.5